

# 【施策の背景】

## ② 宍道湖・中海の 賢明な利用の推進

## 赤道湖・中海

2005(平成17)年11月アフリカ・ウガンダで開催された第9回  
締約国会議で、ラムサール条約に同時登録

### ラムサール条約とは

湿地の保全とワイズユース（賢明な利用）を進める条約。正式名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」という。

### ラムサール条約の特徴

条約では、湿地を様々な生き物の生息地として重要なばかりでなく、我々の暮らしを支えている重要な資源ととらえ、国際協力によって、湿地の保全とワイズユース（賢明な利用）を進めていくことを目的としている。その手段として、交流・学習・普及啓発を重視。

### ワイズユース（賢明な利用）

ワイズユースとは、生物多様性が豊かで、健全な湿地から得られる恵みを賢く使うこと。農業・漁業・観光、保全・再生、健康・スポーツ、憩い・遊び、教育などの多くの分野に活かすことができる。

# ラムサール条約湿地登録記念大会



# ラムサール条約湿地登録後の賢明利用の主な取り組み



中海・宍道湖一斉清掃



KODOMOラムサール全国湿地交流会



穴道湖ヨシ植栽活動（NPO連携）



しんじ湖ラムサール号



エコクルージング



「世界子どもラムサール会議」代表  
派遣 知事報告



「賢明な利用を語る会」登録以降  
これまでに14回開催

# みんなで調べる流入河川調査

宍道湖・中海沿岸の小中学生が身近な流入河川の調査を行うことで水質に関する理解を深め、湖沼の水質浄化活動のさらなる発展及び環境学習の推進に資する。

- ・ 宍道湖流域では平成16年度より
- ・ 中海流域では平成18年度より実施。
- ・ 平成20年度までに延べ179校が参加



# 五感による湖沼環境指標



- ・地域住民にとって分かりやすい補助指標の導入
- ・公募によりモニター委託
- ・平成16年から実施

## ● 「湖沼環境モニター」調査地点

